北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮
社報 亀ヶ池

第7号［平成21年7月1日発行］
発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL http://www.kamegaike.jp
E-mail : info@kamegaike.jp

御社頭　青空に翻る日の丸

奉祝

天皇陛下御即位二十年
天皇皇后両陛下御結婚満五十年

いちょう

今年三月突如としてメキシコから発生した豚インフルエンザという新型ウィルスは瞬く間に世界に拡がった。日本では対岸の火事と嘯いているかの如しであったが、五月に入り、渡航歴の無い神戸市の高校生がこの新インフルエンザと認定されるや蔓延の兆候が現れ、大阪府や兵庫県下の中高校が一斉に学校閉鎖をして、その対策に乗り出した。日本は万全なる水際作戦を展開し絶対に感染しないと思っていたのだが。

経済も然り、昨年秋、米国に勃発した百年に一度の大不況も日本は無関係だと言われてきたが、今年に入り世界で一番の影響を受けているとの報道だ。現実を甘く見る悪い癖が何時の時からか日本人に身に付いてしまったようだ。

ところで、日本人は古来よりすばらしい知恵を授かっている。それは茅の輪くぐり神事である。昔、蘇民将来という貧しい方がおり、素戔嗚尊が宿を求められた時、そまつな食べ物だったが、心底から真心込めてさし上げ宿も与えられた。すると素戔嗚尊は、お返しに、茅がやで作った輪を腰に下げれば、万病から逃れるであろうと言われ、それを守った蘇民将来は無病息災、疫病（インフルエンザ等）にかからなかったと言い伝えられている。今後、毎年行われる茅の輪くぐり神事（六月三十日）に、元気に過ごせるよう参列してみては如何だろうか。

初詣 賑わう御社頭
―ご利益満願―

昨年来の不況の暗雲を吹き払うかのように、平成二十一己丑年の正月は清々しい青天に恵まれた年明けとなりました。

本年も市内外から亀ヶ池八幡大神の御神徳を授かろうと参拝者が詣で、家内安全・厄難消除・商売繁盛・交通安全等様々な願いを託し、また授与所では絵馬や破魔矢、御守を受ける善男善女で御社頭は大変な賑わいを見せました。

村富神社宮司根岸浩行
(亀ヶ池八幡宮禰宜)
神職身分二級に昇進

根岸浩行宮司には、この度神職身分「二級」に昇進され、二月四日神奈川県神社庁にて伝達式が行われました。

根岸宮司は平成五年に亀ヶ池八幡宮の禰宜として奉職、その後平成七年村富神社宮司を拝命いたしました。

平成十五年には神道青年全国協議会指名理事、平成十九年より二ヶ年に亘り神奈川県神道青年会会長などの役職を歴任し、この数々の功績を称えられたもので「若手神職として」今後の斯界の発展にさらに貢献されることが期待されます。

神社参拝研修旅行

去る三月二十五日、神社を参拝する総代世話人研修旅行が実施されました。亀ヶ池八幡宮の護持の一助となるよう毎年実施している恒例行事で、総代世話人神職併せて二十九名が参加しました。

本年は静岡県浜松市天竜区に鎮座する秋葉山本宮秋葉神社に参拝いたしました。秋葉神社は上社下社があり、上社はご神体である秋葉山の頂に、下社は麓に鎮座しており、今回はバスで上社に向い、河村基夫宮司様には宝物館にてご神宝などの解説を頂いた後、正式参拝いたしました。

そのほか浜松市鎮座の井伊谷宮、遠江国の一宮・小國神社などを参拝し、おのおの教養を高め無事帰着しました。

節分祭斎行

立春前日の二月三日、当八幡宮では恒例の節分祭が斎行され、境内は大勢の老若男女で賑わいを見せました。

本殿にて祝詞奏上の後、神職が大太鼓・小太鼓を力強く打ち鳴らす中、年男年女をはじめ厄年の老若男女等は追儺板を敲いて殿内を逃げまわる赤鬼青鬼を退散させ、目には見えない邪気を打ち祓いました。

神事に引き続き、神楽殿にて年男年女等の「福は内、鬼は外」の掛け声と共に、福豆撒が行われ、集まった人々は福を授かろうと歓声を上げ大賑わいのうちに福豆を拾っていました。

尚、数多くの福物をご協賛賜りました氏子崇敬者の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、益々の弥栄と御健勝を御祈念申し上げます。

節分祭福物奉納者芳名

- 清水　亨
- 小林　亮
- 上島茂三郎
- 吉川　佳一
- 大野　寛次
- 鈴木　武雄
- 福田　慶一
- 根岸　信行
- ＪＡ相模原市上溝支店
- 八千代銀行上溝支店
- 静岡中央銀行番田支店
- 東日本銀行光が丘支店
- みずほ証券町田支店
- 相模村上組
- 亀ヶ池八幡宮職員一同

(敬称略・順不同)

[亀ヶ池八幡宮] 専用南駐車場完成

年々参拝者が増加するなかで駐車場不足が最大の懸案でありましたが、昨年12月末に鳥居前方30メートルの所に当八幡宮南駐車場が完成し初詣の方々の利便性が一層向上しました。

兼務神社めぐり 其の二

亀ヶ池八幡宮では、例祭・七五三等の年間祭典を執り行っている兼務神社（根岸信行宮司）が相模原市内22神社あります。社報（亀ヶ池）第6号より順次ご紹介しています。

三、下溝八幡宮（相模原市下溝1479-1鎮座）

下溝八幡宮の氏子地域である下溝堀之内は平安末期からの武士の屋敷跡で、中世末期には北条氏照の娘山中貞心尼が住んでいました。武士が屋敷を造った時、堀之内の表鬼門除けとして、天文年間（1534年）に亀ヶ池八幡宮から勧請し創建されました。祭神は誉田別尊（第15代応神天皇）で、当地の鎮守の神として地域住民の崇敬を集め御神徳いよいよ高く、鎮座450有余年の永い歳月を経て今日に至りました。

明治42年に社殿が焼失し、明治45年9月に現社殿が当時の方々の大変なご努力により再建されて97年になります。境内には市の文化財に指定されている不動尊が創祀されており住民からの信仰が篤いです。近年境内の整備にともない平成19年に幟旗竿、平成20年に参道脇の灯籠が氏子の皆様により奉納され、氏子崇敬者の参拝が多くなり、神社役員も八幡宮の伝統を守り、護持に努めております。（片野教孔総代長寄稿）

四、神明大神宮（相模原市橋本6-39-25鎮座）

橋本五叉路を過ぎ、国道16号を八王子方向に向かいJR横浜線渡線橋の頂点に来ると右側に鬱蒼と繁る森が天照皇大神を祭神とする神明大神宮の境内です。

天保12年4月（1841）の橋本の大火により、本殿は焼失しましたが、わずかに残る記録等によれば永禄12年（1569）の創建と伝えられています。大正12年9月の関東大震災で被害を受け2年の歳月を掛けて神殿、拝殿、及び神楽殿の修復をしています。

明治6年に村社となりましたが、昭和26年4月に公布された宗教法人法により昭和28年9月宗教法人神明大神宮と成ったのであります。尚、神明大神宮と云う尊い社名はいつ与えられたのかは詳らかではありません。

境内は、現在2518坪の広さを持ち140米の参道がありますがその両側は樹齢5、600年をこえる巨木が繁り、お伊勢の杜と称し氏子から崇敬されていました。しかしながら、伊勢湾台風によって根こそぎ消滅して昔日の面影もなく、最近はお伊勢の杜を知る人も少ないようですが、橋本の鎮守の杜として崇敬され、数多くの氏子崇敬者が参拝に訪れます。

例祭は神輿、山車及び大太鼓の町内渡御が行われ、氏子が居住する十自治会を巡行します。

（時田茂光総代長寄稿）

奉祝 天皇陛下御即位二十年記念事業 儀式殿竣功並びに記念植樹斎行

天皇陛下が御位に御即位遊ばされてより平成の御代は二十年の歳月を重ねました。そこで、当八幡宮では、この奉祝記念事業として昨年より進めてまいりました儀式殿新築工事が今年四月みごとに竣功いたしました。この儀式殿は結婚式場を備え、また七五三や正月ご祈祷者の待合室ならびに神職の祭式研修等を行える多目的施設となっており、今後の活用が期待されます。

また、この儀式殿を囲むように庭が造成され、ここに奉祝記念樹として槇が植えられました。

在日陸軍相模総合補給廠 戦闘指揮訓練センター 地鎮祭斎行

去る四月二日、桜花爛漫の好天の下、相模総合補給廠に施設を構えている在日米陸軍が、戦闘指揮訓練センターの工事の無事を祈願して、米軍や防衛省、市の関係者らが出席のもと、亀ヶ池八幡宮根岸浩行禰宜等が奉仕し、地鎮祭が斎行されました。

このセンターは、日本の国防上、大変意義ある施設で、陸上自衛隊との共同使用も視野に入れた訓練センターであり、来年十月の完成に大きな期待が寄せられています。

健康お宝船

其の一

昔から「健康は何にも勝る宝である」と言われております。そこで、今号より「健康お宝船」の紙面を設けて、氏子崇敬者皆様に健康保持の記事を提供していきたいと存じます。

先づ、相模原市歯科医師会特命理事の横山尚人氏より寄稿頂きましたので、掲載いたします。

活きる力を育む歯の健康

横山尚人氏

人間が「生きる」ためには、食を摂らねばなりませんが、「活きる」ためには「噛む」ことが重要な働きをしています。人と生まれて、健康であること、長寿であることは万人の願いです。「齢」という字に表されるように歯は寿命に大きく関連しています。「噛んで食べる」ということは単にエネルギーを補給するだけでなく、人体の持ついろいろな機能の連動性と平衡性を生み出し、調和して全身を活かしているのです。

よく噛むと、唾液がよく分泌され、消化を助けますし、胃のセンサーが満腹サインを出すので食べ過ぎるということを避けることができます。つまり肥満防止になりメタボリックシンドロームを防ぐ一手にもなります。

歯は妊娠六週目頃からでき始めます。赤ちゃんが生まれる時にはもう、歯茎の中にほとんど準備を終えた乳歯がそろっていますし、永久歯も早いものは、妊娠五ケ月頃から準備が始まっています。健康な心と身体の基礎となる「歯」、一生使い続けたい「歯」をもっと重要視していただきたいと思います。的確な咬み合わせかどうか専門医にご相談されることをおすすめします。自分の歯にしても、さし歯にしても、入れ歯にしても、「よく咬める」状態を保ち、健康な「活きる生命」を全うしたいものです。

（医）誠真会 横山デンタル・クリニック
相模原市弥栄二―九―十一

新石玉垣御奉賛者御礼報告 並びにご協賛のお願い 其の三

新石玉垣御奉賛賜りました氏子崇敬者皆様に感謝申し上げ、下記にご芳名を掲載させて頂きました。御奉賛者皆様のご多幸ご隆盛をお祈り申し上げます。引き続き氏子崇敬者皆様の赤誠を賜りますようご案内申し上げます。

中村　之三（上溝）
関田　茂（上溝）
永和田道隆（上溝）
山田　好男（上溝）
秋山　直子（横山）
三木宣一郎（上溝）
三木富美子（上溝）
富澤惣之介（大和市草柳）
落合　博（上溝）
落合　正博（上溝）
吉川　和（上溝）
㈱永留商事（橋本台）

内山　玉枝（上溝）
佐藤　響（下溝）
吉川知惠子（上溝）
㈱鳩川漁苑（上溝）
髙橋　晃（陽光台）
髙橋　勝枝（陽光台）
髙橋　政博（陽光台）
志賀　末吉（綾瀬市深谷上）
㈲北村工芸（上溝）
㈲相模企画コンサルタント（矢部）
㈱山　紀（光が丘）
桒原　秀敬（大野台）

横田　和子（町田市鶴間）
横山台保育園鈴木春雄（上溝）
惠良　義高（田名）
惠良まり子（田名）
座間　福（下溝）
須貝　髙雄（当麻）
小林はるみ（上溝）
小林　俊志（上溝）
小林　麗紗（上溝）
江波戸春夫（上溝）
中里　政美（川崎市宮前区）
岩浪　俊夫（町田市小川）

（敬称略・順不同）

神社！豆知識

石灯籠

石灯籠は古代に大陸から伝わってきたもので、本来寺院の堂前に立てられ、御本尊に献灯するものでしたが、平安時代以降、神仏習合により、神社の社頭にも立てられるようになりました。石灯籠の形は時代の変遷や地域性によるもの等、各種ありますが神社灯籠として代表的なものは奈良の春日大社の石灯籠で、背丈が高く笠は大きくなく、先端の蕨手は上に曲がり、火袋は六角か四角で模様が彫られています。

石灯籠は単に照明のためのものでなく、神の御加護をより一層強く願うため、神前に灯明を灯すことを目的に祈願者から奉献されたものです。

ご案内

平成二十一年例大祭斎行

ご創建以来連綿と絶えることなく斎行されている当八幡宮の例大祭は、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ご観覧下さいますようお知らせいたします。

日時…平成二十一年九月十三日(日)
●例大祭(御社殿)…午前十時
●奉納剣道(境内)…午後一時
●神代神楽(神楽殿)…午後三時
●余興(神楽殿)…午後六時
●お囃子(囃子やぐら)…終日(適宜)

七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まったものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願って七五三祈願祭を斎行いたします。なお、九月に貸衣装・美容・着付・写真の展示予約会を計画しておりますので祈願祭同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。

●祈祷受付…八月より
●祈祷時期…十月より十一月末
●写真・美容・衣裳・着付受付　八月より

平成二十二年正月祈願祭受付

〝一年の計は元旦にあり〟人は皆新年を迎えると、希望や夢をふくらませ、神社に初詣されています。

当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。

家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈祷予約を十一月より受付いたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。

※お申し込み・お問い合わせは当八幡宮社務所(電)042-751-1138へお願いいたします。